

2024年2月12日

2020-09-11
センチネル2

YACかわら版 435

山火事跡地 フォルスカラー

在チリ日本大使館は、2月04日に「チリ中南部における火災に関する注意喚起（かんき）」を出しました。本文中には「...これまでに92件の火災が発生し、うち29件が消火活動を継続しており、3万から4万3千ヘクタールが火災の被害にあったと...」という説明があります。

<https://www.anzen.mofa.go.jp/od/ryojiMailDetail.html?keyCd=148085>

続けて2月9日には「チリ中南部における火災に関する注意喚起（続報）」を出しました。

「エルニーニョ現象」の影響で高温・乾燥が続き、チリ各地で過去最悪の森林火災が発生したといわれています。極めて大きな被害が生じていることに心を痛めていますが、あわせて今後の森林の復興に大きな関心をもっています。

これまでYACかわら版でも山火事何回もとりあげています。これらの山火事跡地が現在どのような状況になっているのか衛星データのフォルスカラーで探ってみます。

<YACかわら版343 2023年02月09日版「チリ山火事」>

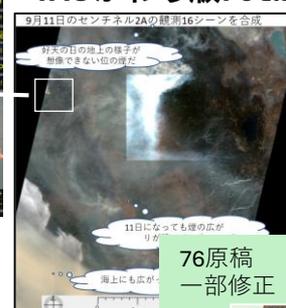
センチネル2 トゥルーカラー群



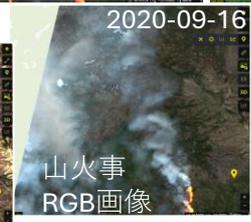
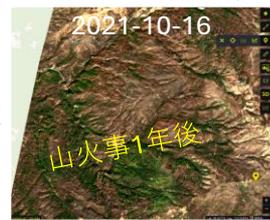
コンセプトン-36.833333, -73.05



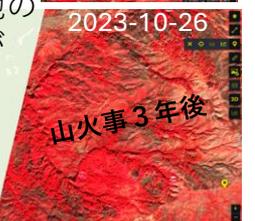
<YACかわら版76 2020年9月15日版「大規模山火事の観測」>センチネル2



センチネル
トゥルーカラー群



センチネル5Pでは
2020年8月18日から
この大規模火災は
確認できます。
火災後の山地の
回復には時間が
必要となります。
3年を経過しても緑が回復して
いない場所が目立ちます。



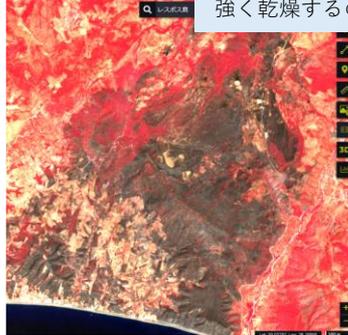
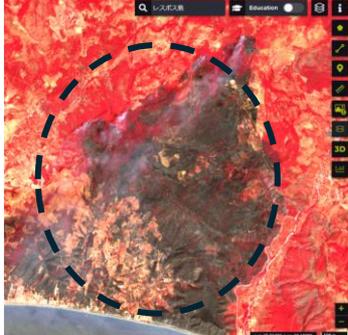


272原稿

ギリシャの地中海のレスボス島は、温暖な地中海性気候で、オリーブが有名です。気候変動の影響でギリシャでは山火事が多発しています。山々は山火事以前の緑にはもどっていません。



冬には降雨はあるが雨量は少ない、夏は日ざしが強く乾燥するので回復に時間がかかりそうだ



「昨年の9月頃からオーストラリアの東海岸では山火事が続いていた。」とYACかわら版81では書いていました。南部のカンガルー島でも山火事がありました。



島は固有種の宝庫でしたが、島の3分の1が焼け跡となり、コアラが約4万頭死亡しました。島は山火事から4年経過した今も今年の1月19日の観測画像の通りです。自然が回復するには多くの時間が必要です。

衛星データでは、好天の場合、地上の変化の様子が確実に把握できませんが、あくまでも地上の観測結果との照合が必要です。

